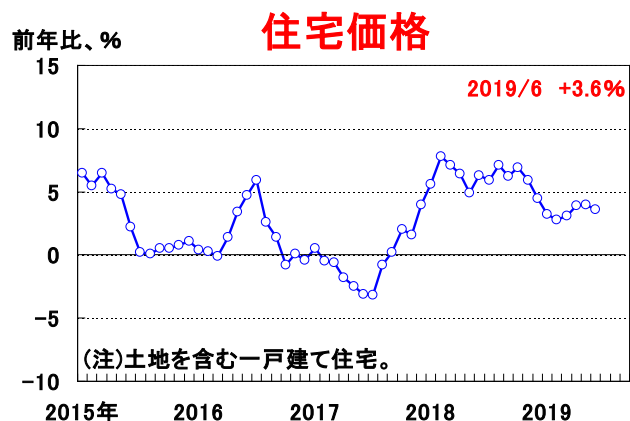
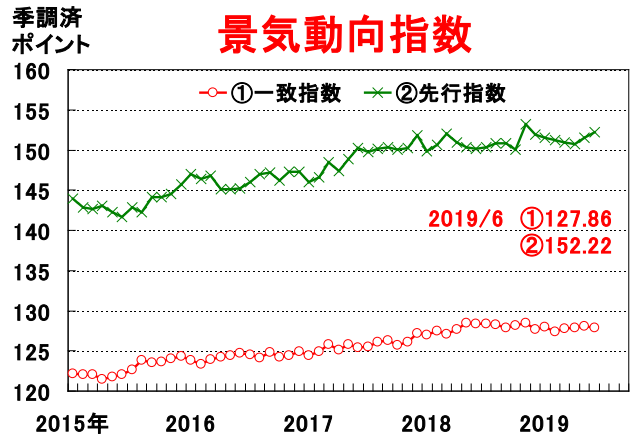
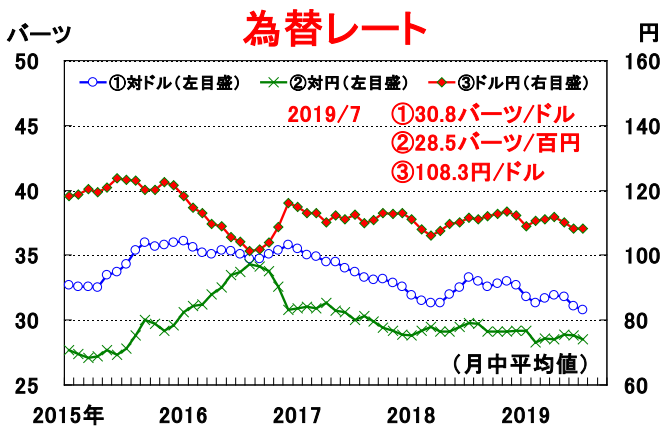
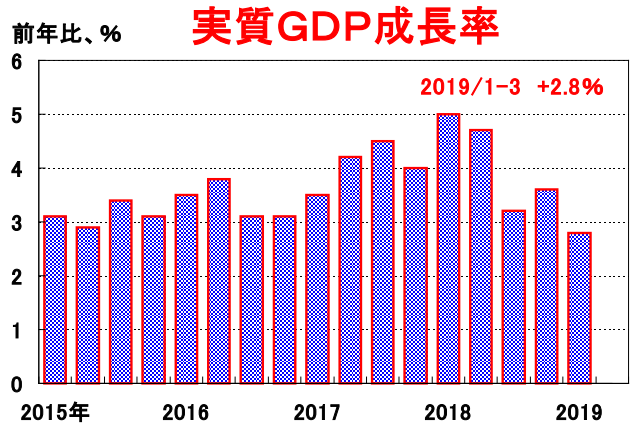
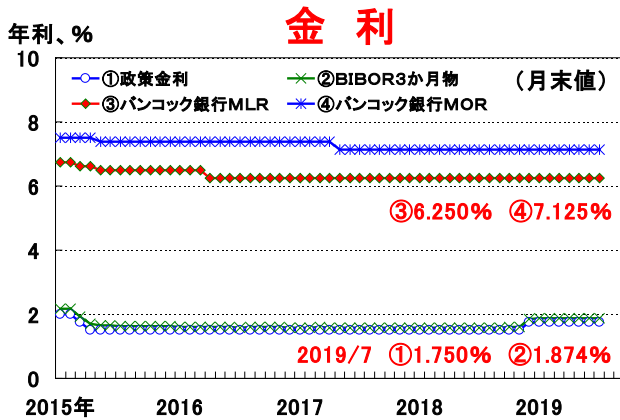


# グラフで見るタイ経済 2019年8月号(No. 122)

タイの景気は減速している。企業部門をみると、6月の輸出は前年比-2.2%(前月は同-6.2%)と減少基調で推移し、同月の工業生産指数も前月比-2.2%(前月は同-2.1%)と2か月連続で下落した。7月の企業景況指数は49.1(前月は49.4)と2か月続けて中立水準の50を下回り、企業マインドも弱含みが続いている。家計部門に関して、6月の個人消費指数が前月比-0.1%(前月は同+0.2%)と19年2月以来の下落となった。内訳をみると、外国人観光客消費が復調したものの、耐久財消費は18年4月以来の低水準にとどまった。



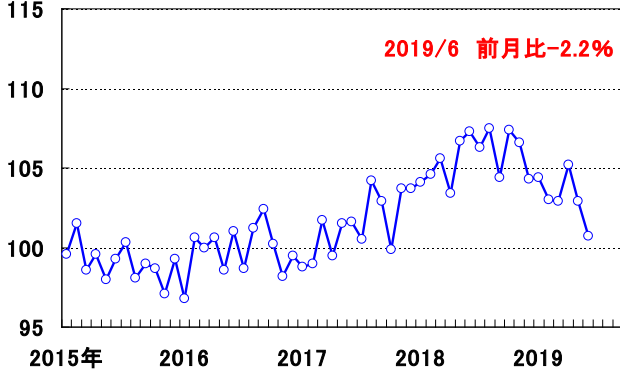
【今月のトピック: 過去10年間で最悪の干ばつの恐れ】タイの今年の雨季は、北部や東北部、中央平野を中心に降雨量が平年を大きく下回り、干ばつの被害が広がっている。干ばつの被害によりタイの主力農産物であるコメの輸出が約1割減少する見込みである。観光業においても、人気のアウトドアのアクティビティである「いかだ下り」にも悪影響が出ている。米中通商摩擦の余波が輸出に波及しタイ経済が減速する中で、干ばつの悪影響は軽視できない状況となっている。金融市場では、干ばつが中央銀行による利下げを促す材料となるとの見方も出ている。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

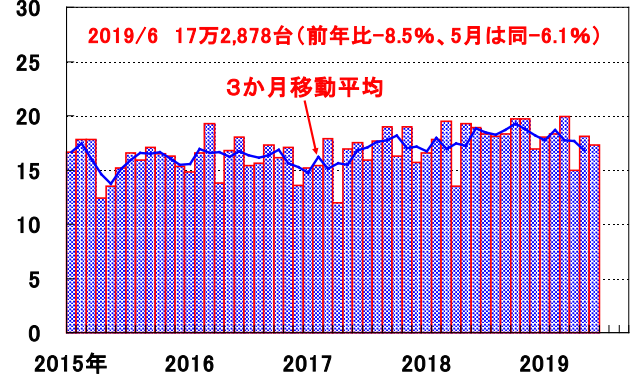
季調済  
2011年=100

### 工業生産指数

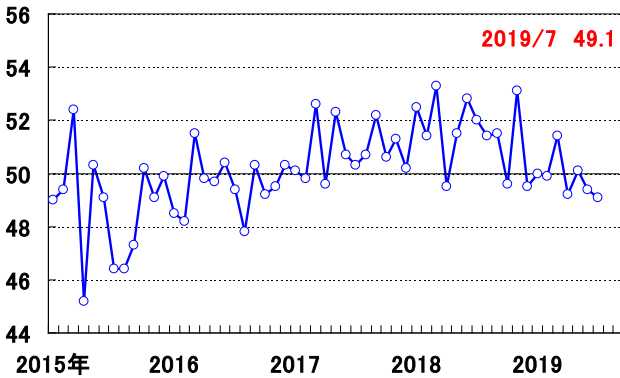


万台

### 自動車生産台数

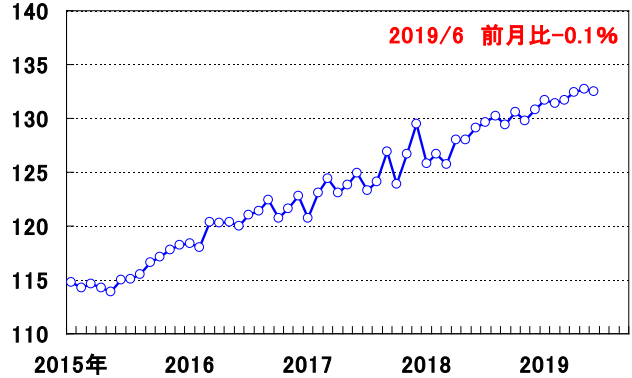


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



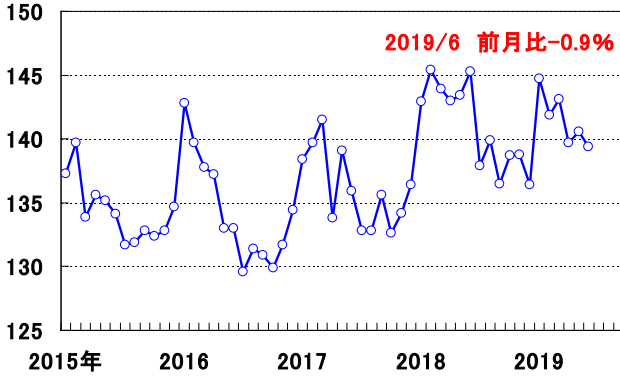
季調済  
2000年=100

### 個人消費指数



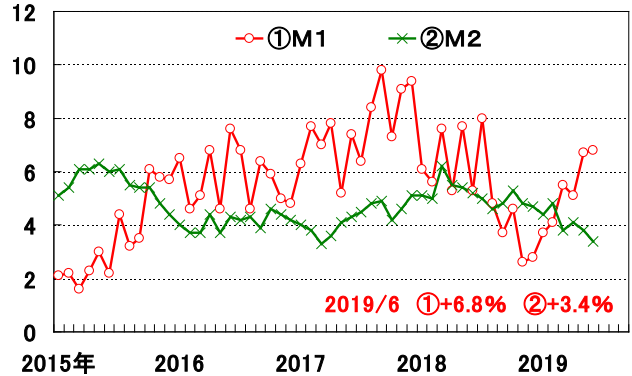
季調済  
2010年=100

### 民間投資指数



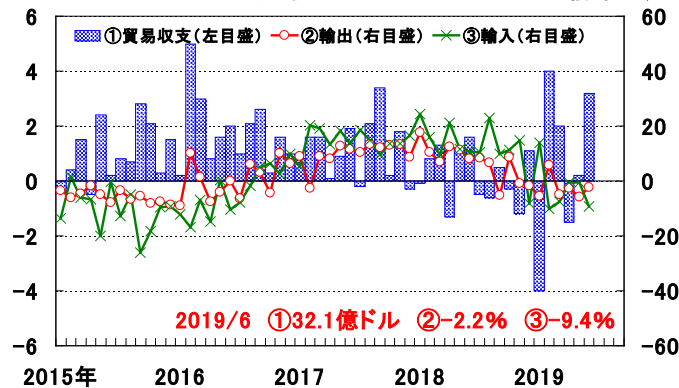
前年比、%

### マネーサプライ



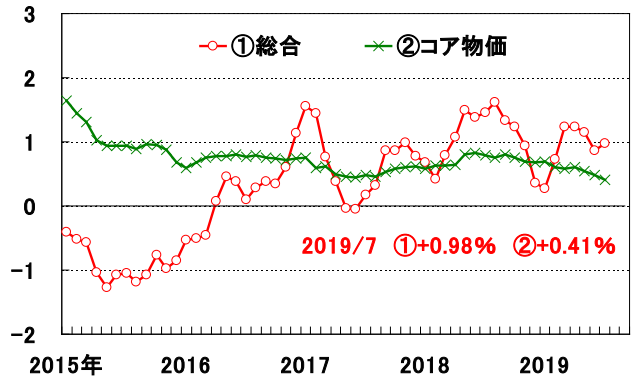
10億ドル

### 貿易収支



前年比、%

### 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。